

UN Women ネパールカントリー事務所からのお願い

地震支援-ディグニティーキット

(災害などにあつて家を失った女性が尊厳をもって生活するための必需品パック)

4月25日にマグニチュード7.8の地震がネパールを襲い、多大な被害を与えて多くの命を奪いました。初期の予想によれば75ある地域のうち39地域で800万人以上の人々が被害を受けました。そのうち200万人以上が被害の大きかった11地域に住んでいます。60万の家が壊れ、280万人の人たちが家を失いました。800万に及ぶ被害者のうち12万6千人が妊娠しており、そのうち2万1千人が3か月以内に出産に伴うケアを必要としています。また約4万人の女性がジェンダーに根差す性的暴力に合う危険に直面しています。UN Womenの予想によれば上記11地域では32万家族の女性が生計を担い、3万2千人の女性が障害者、7千人の女性が65歳を超え、41万4千人の少女が14歳以下、60万人の女性・女兒が字を読めません。救援活動の先端に立っているネパール政府の女性・女兒省によれば16万5千個のディグニティーキット(災害などにあつて家を失った女性が尊厳をもって生活するための必需品パック)が緊急に必要なだということです。

ディグニティーキットとは災害で避難して困難な状況の中で女性・女兒が清潔、尊厳を保つのに必要な生活必需品を入れた袋のことです。UN Womenのネパールカントリーオフィスは1万6千人に及ぶ弱い立場の女性(10%の家計を担ったり、高齢であったり、障害を持つ女性たち)にディグニティーキット(一人当たり30ドル)を配るための必要経費50万ドルに対して緊急支援を求めています。

UNFPAが支給する標準的なキットには以下のものが含まれます:再使用可能な生理用ナプキン(3)、女性用下着(2)、ペチコート(2)、スカート(1)、長そでブラウス(1)、サリー(1)、折りたたみ傘(1)、櫛(1)、爪切り(1)、歯ブラシ(1)、歯磨き(1)、バッテリー付懐中電灯(1)、洗剤(3)、石鹼(2)、洋服入れバッグ(1)

キットは被災状況で女性が使えるものを簡単に配れるようパケツか袋に入れます。キットに入れるものは文化的に受け入れられるもので、清潔、かつ数が十分であることが望まれます。

キットはUNFPAネパールと共同でインドから調達し、子供を生める年齢の女性への支援という枠組みの中で実施される予定です。UNFPAはキット用に25万ドルを拠出すると約束しています。UN Womenは女性団体関連パートナーをとおしてキットを配り、キットにはUN Womenの名前が付けられます。